

カリフォルニア州立大学フラトン校～フィールドワーク演習(国際交流)～

【インタビューに答えてくれた人】

コミュニケーション学科 3年

兵 優奈 Yuna Hyou | 竹内 美月 Mizuki Takeuchi | 山内 蘭 Ran Yamauchi

Q なぜ留学をしようと思いましたか？

A 昔から留学してみたいという気持ちはありました。夏休み期間中(9/6～9/20)の2週間プログラムだったので気軽に参加することができました。海外に行ったことがなくて不安でしたが、先生の引率があるので安心して留学に挑めました。

Q 準備しておくべきことはありますか？

A パスポートとスマホとお金等の本当に大事なものを持って行けば基本的に困ることはありませんでしたが、ひとつ後悔したことをあげればホストファミリーへのお土産です。とても良くしてもらったので、事前にしっかり準備をして持って行けばよかったと思いました。

Q 留学先では主に何をしましたか？

A 私達はカリフォルニア州立大学フラトン校の学生に向けて日本語授業を行い日本を紹介しました。そこでは積極的にコミュニケーションが取れ、とても自信につながりました。また、日本の事が好きな学生がたくさんいて、日本の事をとても誇りに思いました。



左から優奈さん、美月さん、蘭さん

Q 特に印象に残っていることは何ですか？

A ホームステイです。2泊3日でBBQや海、水族館などホストファミリーの方に沢山の場所へ連れて行ってもらいました。ホームステイ中、誕生日だったのですがいるんな方にお祝いしてもらって一生で一度の最高の思い出になりました。お別れする時はとても寂しかったです。

Q 留学する前と後で変化したことは何ですか？

A 一番は気持ちが変わったことです。いろんな文化の人に触れたことで世界はこんなに広いんだと認識しましたし、視野が広がってポジティブになりました。



【インタビューを終えて】

心理学科 2年

池端 上総 Kazusa Ikebata

留学には興味と同時に不安もありましたが、今回のインタビューで幾分かそれが和らぎました。留学先に向かう前に、知識と姿勢、そして手土産を用意しておこうと思います。



My Experience Studying Abroad

～フィリピン&マルタ共和国への留学～

コミュニケーション学科 3年 石塚 岳斗 Gakuto Ishizuka



I went to two language schools, one in the Philippines and one in Malta. I experienced a lot and I felt that I improved my English. It was my first time to travel abroad alone. Even when I was walking around the airport I was really nervous. With the support of the school, I was able to finish the program successfully and enjoy life there. I became friends with a student I was studying with there. I spoke English with them and we lived together. We also went sightseeing to various places. Communicating in English gave me confidence in my English. Thanks to this, I am no longer afraid of walking alone in a foreign country at all. Living in a different culture has deepened my values. Religious differences and national cultural differences have expanded my horizons and allowed me to understand people better. Studying abroad has helped me to think and act proactively and become more independent. I would like to use this experience to continue my studies.



Center Comments 【編集後記】

英語教育センターは、その設立から関わっていたので大変思い入れのある場所です。現在、本センターにて行われている活動は、スタッフ・学生と共に作り上げた、とても充実した内容のものばかりです。活動を通し、より多くの教職員・学生が、英語を楽しみながら学ぶことができればと思っています。今後とも、英語教育センターの運営にご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。(加藤 優子)

たくさんのイベントを通して充実した1年を過ごさせていただきました。関わってくださった方には感謝の気持ちでいっぱい。これからもより多くの方に来てもらえるような場所作りに取り組んでいきたいと思っています。英語や留学に興味がある方はもちろん、苦手意識がある方もお気軽にE-Loungeにお越しください。(野村 さおり)



左から ハウカ(センター主任)・加藤(センター長) クスィフ(センター講師)・野村(事務職員)



英語教育センターHP

English Education Center
Jin-ai University
3-1-1 Ohde-cho, Echizen-shi
Fukui 915-8586
TEL: 0778-27-2010
FAX: 0778-27-1990
HP: http://www.jindai.ac.jp/

Essential Information



未来へ羽ばたく力で 新たな自分へ

英語教育センターは本学学生の英語コミュニケーション能力と異文化理解力の向上を目指して、全学の英語教育の実施、留学希望学生への支援、英語検定試験のサポートや自主学習支援を行っています。



TOEIC® IP を全学で実施しています！

本学の英語教育の指針として、TOEIC® IPを全学で実施しています。1年次には、入学時のプレースメントテストとしてTOEIC Bridge® IPを、後期のアチーブメントテストとしてTOEIC® IPを、全員が受験します。2年次以上は年3回TOEIC® IPを学内で受験するチャンスがあります！

TOEIC® IP 受験のメリット

1 TOEIC® IP スコアコンテスト

2024年度もスコアコンテストを開催します。「学科選抜賞」(各学科上位2名ずつ(計8名))、「学長賞」(最優秀者1名)を授与します。TOEIC® IP受験者は自動的にスコアコンテストにエントリーされます。ふるってTOEIC® IPテストに挑戦してください。

2 留学プログラム助成金(人間学部対象)

TOEIC® IP受験者は、仁愛学園後援会による留学プログラム助成金を受けることができます。

- 「フィールドワーク演習(国際交流)」… 5万円程度
- 「海外語学研修」…………… 15万円程度

※助成人数や受験年度など詳細については、英語教育センターまでお問い合わせください。

2024年度 TOEIC® IPは3回実施予定です。詳細は追ってご連絡します。

ALC
NetAcademy
NEXTで
TOEIC®対策!



本学ではTOEIC®に対応した最新のオンライン自己学習システムを導入しており、PCやスマートフォンでいつでも、どこでも学習できます。

TOEIC® IP Score Contest Awards Ceremony

2024年2月7日(水)、E-301(E-Lounge)において令和5年度TOEIC® IPスコアコンテスト表彰式が行われました。マシュー・ハウカ英語教育センター主任の司会で加藤優子英語教育センター長から入賞者一人ひとりに賞状と副賞が、田代俊孝学長より最優秀者に学長賞が授与されました。田代学長他、受賞した学生の指導の先生方も出席していただき健闘を称えていただきました。



学長賞 上田 尚志 (3年)

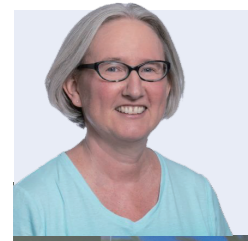
学科選抜賞 山田 愛歌 (2年)
酒井 佑卓 (3年)

コミュニケーション学科 織田 蓮 (3年)
窪田 琉乃 (3年)

健康栄養学科 山田 夏子 (3年)

子ども教育学科 竹内 好未 (2年)
勝見 紗妃 (2年)

Special Lectures 2023



Professor Dennehy's Online Lecture

～ オンライン特別講義 ～ クリスティン・デネヒー教授 (カリフォルニア州立大学フラトン校 教授)

姉妹校 カリフォルニア州立大学フラトン校 クリスティン・デネヒー教授とゲストスピーカーによるオンライン特別講義を開催しました。



Project Rebound (2023年12月5日)

参加学生の声

コミュニケーション学科 2年

小林 優花 Yuka Kobayashi



I participated in Professor Dennehy's online lecture. At first, the speaking speed was quick, so I couldn't listen well. However, I was able to listen more and more, so I could feel that my English skills have improved.

I learned about the program, "Project Rebound". I think most people who have committed crimes hope for a peaceful life. It is very sad that a single mistake can lead to a person being denied reintegration into society, and it can also rob a person of his or her potential.

This program is amazing, so I hope it will continue.

Professor Kato's Lecture at the E-Lounge

～ 特別講義 ～ 加藤義治客員教授 (英語教育センターアドバイザー/元駐モーリシャス特命全権大使)

留学参加者へ向けて、海外での経験豊富な本学客員教授の加藤義治先生による特別講義を開催しました。



On July 11, 2023, Visiting Professor Yoshiharu Kato gave a lecture on studying abroad for students participating in a short-term program at California State University, Fullerton. Based on his experiences and knowledge of studying and living in Indonesia and the U.S., he shared with students what they should be aware of while traveling abroad. He explained that studying abroad is not only a valuable opportunity to expand one's cultural scope but also a good chance to re-discover one's country. It is desirable for students to have the opportunity to see things that are different from Japan and learn things they didn't know. Before concluding the lecture, Professor Kato emphasized the importance of understanding the different opinions of others.



「留学から学んだこと」(2023年7月11日)



English Education Center Activities

TOEIC® Preparation Seminars

～ TOEIC®対策講座 ～ (2023年6/13日・20日 10/17日・24日 全4回)



マイケル・クズィフ英語教育センターインストラクターによるTOEIC®対策講座を実施しました。



English Clubs ～英語力の向上を目的とした英語クラブを行いました～

Our World Today

日本や世界が抱える様々な問題に関する英語のニュースや新聞、動画などを見て、英語で自分の意見や考えを発表しました。英語の学習だけでなく、このクラブ活動を通して、社会問題を意識するようになりました。



Reading Club

E-Loungeの図書の中から自分で好きな本を選び、その本の内容を英語で紹介したり、感想を話し合ったりしました。続けることで英語の本を読むことに少しずつ慣れていきました。



English Education Center Staff 2023

本年度の学生スタッフ9名を紹介します！



- 宮 永 彩 子 ※ (4年)
- サンゲンザ・マジエイ (3年)
- 大久保 有 梨 (3年)
- 木 村 梨 花 (3年)
- 池 端 上 総 (2年)
- 小 林 優 花 (2年)
- 市 丸 莉 那 (2年)
- 杉 田 千 純 (1年)
- 名 子 綾 楓 音 (1年)

※スタッフリーダー

スタッフの声

コミュニケーション学科 4年

宮 永 彩 子
Ayako Miyanaga



学生スタッフのイベントの企画・運営を1年間リーダーとして経験させていただきました。スタッフやイベントに参加してくれた方達と協力しながらひとつのものを作るのはとても貴重な体験でした。苦労もありましたがこの経験を生かして社会に出てがんばってまいります。

English Education Center Events

社会貢献 **世灯祭** ～10/21-22～



小児がん治療のためのチャリティ活動としてレモネードスタンドを開きました。アメリカの一人の少女から始まったこの活動に、多くの方が賛同し、協力してくださいました。ありがとうございました。

レモネードスタンドについてはコチラから ▶▶▶



スタッフの声

子ども教育学科 3年

大久保 有 梨 Yuri Okubo

昨年に引き続き、今年もレモネードスタンドの運営を行いました。今年も驚いたことに、私たちは予想を上回る多くの資金を集めました。ご協力ありがとうございます。この資金はがんを患う子どもたちとその家族を支援するために使われます。これからもEEC学生スタッフがこのような慈善イベントを続けて、困っている子どもたちのために募金を集めていく活動をしていけたらなと感じました。

学生交流 **七夕イベント** ～7/25～



スタッフの声

子ども教育学科 1年

名 子 綾 楓 音
Akane Nago

I worked as a staff member for the EEC this year. We held a Tanabata event where

we played some games. I enjoyed suikawari, eating somen, playing BINGO, and doing a photo scavenger hunt around the school. We were able to have a fruitful summer by holding this unique summer event. Planning and hosting the event was difficult, but we also felt it was fulfilling. There was a sense of accomplishment after the event was over. I encourage everyone to become an EEC staff member!

異文化理解 **クリスマスイベント** ～12/19～



参加学生の声

心理学科 2年

縣 祐 宇
Yu Agata

I took part in the end-of-the-year party. The main feature of the event was decorating

cakes. We ate Swedish biscuits, Filipino chocolates and some other sweets while decorating the cakes. Everything I had was super tasty, including the cake. And then, we had a music intro quiz competition. I couldn't name many of the songs, but it was quite fun for me anyway.

Fullerton, CA Junior Ambassadors

仁愛大学 × フラトン中高生ジュニア大使 交流イベント (6/15日)

福井市の姉妹都市でもあるフラトン市からジュニア大使8名が来学。コミュニケーション学科の学生とゲームやクイズで交流しました。また、大学内の食堂体験をしたり、各学科の授業の様子を見学したり、図書館を巡るキャンパスツアーを行いました。

